



バレーの楽しさ感じて

バレーボールV・チャレンジャーリーグ1の「JAぎふリオレーナ」の選手が指導するバレーボール教室が、各務原市那加太平町の市総合体育館で開かれ、市内の小学生がリーグで活躍する選手と触れ合いながら練習を積んだ。

市バレーボール協会（佐藤芳文会長）が技術向上とバレーボールファンを増やそうと、毎年開いている。今回は、市内の9スポーツ少年団の小学1〜6年生93人が参加した。

リオレーナからは、樺本

各務原市 JAぎふ選手が児童を指導

真恵監督をはじめ佐々原和主将ら13選手全員が参加。選手ごとのグループに分かれ、オーバーハンドパスやレシーブ、スパイクなどを練習した。子どもたちは、選手から「おでこの前でしっかり構えて」などとアドバイスを受けながら楽しんで取り組んでいた。

参加した中島咲耶さん（中央小6年）は「やったことのないアップや練習があつて勉強になった」と話していた。

練習後は、選手のサイン会も開かれた。（岡田敬史）